



(仮称)秋田市青少年自然文化ランドの完成予想図

充実した学習活動や文化・スポーツ活動に親しめる機会と環境を整え、郷土の歴史と伝統を誇りに、市民が常に生きがいのある人生を送れるまちをめざします。

# 第四章 可能性を伸ばし 生きがいを持てる充実のまち

## 地域のなかで育む 教育を広げます

### 学校を地域に開放

● 川尻小学校をモデル校に指定し、特別教室を地域のみなさんに開放する「すくくる・コミュニティ21事業」を行います。地域のかたと協力していろいろな自主事業を開催するなど、学校・地域が一体となって子どもの成長を支援します。

● 教育改革の柱である中高一貫教育。全国に先駆けて開校した御所野学院中学校・高等学校で、一貫校ならではのゆとりと特色ある教育を進めます。

● 地域のかたの協力を得ながら一人ひとりの個性を伸ばす「はばたけ秋田っ子」の授業や「ゆめ秋田21中学生会議」を引き続き行います。英語指導助手を増やしたり、学校間を光ファイバーで接続した教育研究をするなど、国際理解教育や情報教育の充実もはかります。

● 弁当方式から茶碗盛りつけによる温かい米飯給食を、今年度は八つの小学校で行い、年次計画で全小学校への普及をはかります。

● 勝平小学校の改築工事に着手するほか、飯島小学校の大規模改造を引き続き行います。また、老朽化した秋田東中学校の武道場と築山児童館の改築を行います。

### 文化ランド建設も本格化

● 太平山リゾート公園内に建設する(仮称)秋田市青少年自然文化ランドは、豊かな自然の中で様々な体験活

## 秋田市の 財政状況を 見てみる。

目的を持った貯金です

### 基金の積立

今年度末の残高は149億円

基金積立金とは、いろいろな目的のために用意しておく市の貯金といえます。

左表のように基金には、市債を計画的に償還するために設けられている「減債基金」、大幅な税収減や突発的な支出に備える「財政調整基金」、また新庁舎建設のための積立金や文化・スポーツ振興のための基金などがあります。

今年度は予算編成の際、こうした貯金のうち、減債基金や財政調整基金から約17億円ほどを取り崩して一般財源に組み入れました。これにより平成13年度末の基金残高は149億円ほどになる見込みです。